

「多様な働き方」が活力を生む

一般的にオフィスは各部署が区切られた部屋に収まる間取りが多いが、同社は壁を取り払いワンフロアで見通しが良いのが特徴。各部署が必要に応じて、すぐに声を掛け合い、コミュニケーションを円滑にする目的で設計された。これまでの工場は、受注増に対応し、生産ラインを拡大するため増床を重ねた。そのため、従業員用の玄関が3か所、更衣室や休憩室も重複し、冷蔵庫を数えるとい個もあったという。

働き方改革は社内の一部署が取り組んでもなかなか進展するものではない。同社は、事業の見直しや就業規則の変更など、企業トップの強いリーダーシップのもとで取り組みを進めてきた。それが全社員の物心両面の幸福の実現につながっていく。

オフィスが働き方を変える —タイヨーパッケージ—

タイヨーパッケージ（立山町利田）は、医薬品や食品メーカーを主要な得意先とした印刷紙器製造販売の老舗企業。2010年に本社機能を備えた工場を新築。社内コミュニケーションの活性化に役立てている。



社員が共有できる壁のないオフィススペース

オフィススペースは、白を基調としてカフェのような洒落た机とイスが並ぶのが印象的。大きな窓からは雄大な立山連峰が見渡せる。

その成果は緩衝材が要らない画期的な新商品「ロンドレスパッケージ」の開発につながり、現在特許を出願中。緩衝材の機能を持つ仕切り板と外箱を一体化し、大幅なコスト削減と省力化が実現できる。この商品は複雑な設計のため、制約の多い商品だった。まさに多くの部署が知恵を出し合って生まれた。

生産性向上の取り組みは製造業では必須。楠社長は「これからの生き残りのためには、自分たちが自身の働き方を変え、成長していかなければならない」と語る。

得意先をまわる営業部門には自席はない。オフィス中央の共有スペースの空いている席を利用する「フリーアドレス」を採用。この周りに、設計や製造部門が配置されている。顧客からの要望にこたえるため、新たな商品仕様について、設計や製造部門とすぐに相談しやすい。

働き方を変え、成長



テレワークなど 場所、時間にとらわれない 働き方について

テレワークというと育児や介護のための在宅勤務での活用がイメージしやすい。実際、情報機器や通信手段の発達により、オフィスでなくても仕事ができるようになりました。

もっと重要な活用法は、業務実施の危機管理です。災害時などオフィスに社員が出勤することが困難なことがあります。その場合、クラウドなどに業務に必要な情報を保管してあれば、アクセスし業務を行うことができます。このためには、仕事を見える化し、情報がどこにあるかを幹部も含めて社員が共有する必要があります。安全に効率的に働くためには、情報システムの構築とメンテナンスは重要です。

（株）ワークライフバランス 社長 小室淑恵さん

第4回は11月25日付掲載予定です。



2019年4月から働き方改革関連法が順次施行されます！

- ・時間外労働の上限規制が導入されます！
- ・年次有給休暇5日の確実な取得が必要です！
- ・同一労働同一賃金に取り組む必要があります！

働き方改革 厚生労働省

「中小企業の働き方改革アドバイザー派遣事業」を実施中！

県内企業の働き方改革や女性活躍の取り組みを推進するため、アドバイザーの派遣を希望する団体を募集しています。

中小企業の働き方改革アドバイザー派遣

「イクボス企業同盟とやま」加盟団体募集中！

部下の仕事と家庭の両立を応援するため「イクボス」宣言し、同盟に参加しませんか？

イクボス企業同盟とやま



「仕事と介護の両立支援研修会」参加者募集中！（参加無料） ～「介護離職ゼロの職場」のつくりかた～

日時：平成30年11月28日（水）10:00～12:00 会場：富山県民会館 611号室 定員：80名
対象：企業の管理職、人事労務担当者、介護支援専門員等
講師：社会保険労務士事務所あおぞらコンサルティング所長 池田直子氏

仕事と介護の両立支援研修会